

新しい地域コミュニティ組織：大原自治振興会

会長退任にあたって

田中 勇

新緑が目には沁み、吹く風は花の香りを運び心地良い季節となりました。大原学区の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は自治振興会活動にご理解とご協力賜り心から感謝申し上げます。

この度の役員改選に当たり、会長の職を退任させていただき事に致しました。顧みますと、平成22年11月より半年の間大原自治振興会設立準備委員会会長として携わり、平成23年6月に自治振興会を設立し、引き続き不肖私を会長に選任いただき2期4年間の重責を担わせていただきました。この間の役員、委員の皆様の熱心で真摯な取り組みは、年々その精度や実行力を高め、自治振興会の理念に沿った成果を出していただき、共に汗を流せたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

今日、大原学区においても少子高齢化が進み人口も減少傾向にあり、地域のふれあいも希薄化が心配されるところです。しかし歴史に裏打ちされたすばらしい大原の地域を大切に、誰もが住み続けたいと思えるようにすべての方々が、地域の絆に思いをよせ自治振興会活動を通じて、地域づくりに積極的に関わっていただきたいと思えます。また新しい役員、委員の皆様におかれては、大原自治振興会活動のこれまでの実績を基に、個々の取組を“ブラッシュアップ”して、地域の皆様の要望や課題の解決にそれぞれ“快刀乱麻を断つ”ごとくに熱意をもって対応すれば、大原学区の皆様からきっと、共振・共感・共鳴いただけるものと確信致します。

むすびに、「変革」と「協創」の2つのキーワードでエールを送り、大原学区の皆様と大原自治振興会の益々の発展をご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。

変革

大原学区の皆様にも更に積極的な活動参加をいただくため、自治振興会活動のなお一層の充実へ運営の改革、強化を目指す。

協創

各自治区と自治振興会との相互理解を深め、緊密な連携・協力をさらに押し進め、自立した取組みを行い活動成果を高める。

～ 平成27年度 新役員決まる！ ～

会 長：中島 教芳

副会長：廣岡 道生、奥山 清美

監 事：西田 武史、堀口 弘志

上記役員は2月18日の臨時役員会で選出、3月8日の臨時総会で承認されました。

なお、新しい会計責任者や事務局長などは新会長が会員の中から委嘱し、新年度の総会で報告されます。その他自治振興委員や専門部会委員など新体制の全容は、次回広報にて詳しくお知らせ致します。なお、自治振興委員と4専門部会委員の交互改選と新たに相談役の設置についての規約改正も承認されました。



3月8日臨時総会

生活環境部会

部会長 廣瀬 茂樹

★花いっぱい事業

- 各區に紅白の葉ボタン配布
- JR甲賀駅ロータリーの2回の植替え
- 神区コスモス祭りの写真募集
(大原ふれあいフェスタへ出品)

★防犯灯LED化事業

★生活道路の安全点検事業

★防災事業

- 避難所マップの作成と全戸配布



パンジーに植替え春を待つ



避難所マップ

「花いっぱい」や「防犯灯」の事業は今年も継続して取り組みました。LED化は現時点で、学区内の約半数に達しましたが新たな要望もあり、次年度も継続します。生活道路については、大原小学校のPTAの方々の協力で情報交換が出来、横断歩道設置や信号機の時間調整などの要望を市へ提出しました。なお市道であっても生活道路となっている箇所では、車の通り抜けを遠慮してもらって看板の設置が必要と思われる、こうした取組みについても今後検討が必要であると感じました。避難所マップについては、各区からの情報や過去の台風被害を参考に、特に水害発生予想箇所の明記に努めました。自分の家の避難場所を確認することのほか、他の区の場所も確認しておくのも出先での非常時に役立ち、状況に応じてどこへ避難するのが良いのかこのマップを活用して下さい。

教育文化部会

部会長 井村 龍造

★人権の学び

- 甲賀中学校の生徒を対象
「ネット社会の中学生の人権問題」
- 大原小学校PTAと民生委員児童委員など対象
「いじめ問題と家庭」

★大原小学校自然環境学習（大原財産区等共催）

- 6年生の卒業記念植樹
- 4年生のシイタケ植菌体験

★おらが町の文化遺産の調査と発行・発信



やったネ！記念植樹



まずはホダ木に穴開けて

地域で子どもを育てると言う観点から、甲賀中学校や大原小学校で人権学習を学校・PTAと共催しました。大原小学校においては、自然環境学習の一環として今年度も卒業記念植樹やシイタケ植菌が行われ、当部会も共催しました。

おらが町の文化遺産PR事業は、各区のお年寄りから聞き取り調査し写真なども用意し時間をかけてまとめたものです。次年度には冊子やDVDとして発行予定ですので、歴史再発見ウォークやサロンなどで郷土愛を育む手引きとして是非活用していただきたいと思います。さらに本事業の今後の展開として、このような地域資源をどのように外部に発信（PR）していくかの取組を行って行きたいと思います。

地域振興部会

部会長 山出 洋三

- ★ホタル観察会
- ★歴史再発見ウォーク（健康福祉部と共催）
- ★空き家調査の実施
- ★櫛野ダム周辺整備
- ★桜てんぐ集病研修会
- ★里山整備事業
- ★大原祇園に竹灯笼設置
- ★文化財案内看板設置（高野区・大原中区）



高野里山散策ルート整備



垂井城跡（大原中区）

部会活動を通じて、大原地域には多くの文化遺産や価値ある景観があることを再認識しました。また、今期取り組んだ大原地域の空き家調査では地域の縮小傾向が見えてきました。

今後、大原地域をどのようにして発展させていくかが大きな課題ですが、大切なことは大原自治振興会の活動を地域の皆さんに良く理解していただき、より多くの皆さんが自治振興会活動に取り組んでいただけるようにすることだと感じました。

最後に、当部会の活動に参加いただいた皆さんはもとより、活動スタッフやボランティアとして事業に参加・協力していただいた皆さんにこそよりお礼申し上げます。

健康福祉部会

部会長 古川 秀行

- ★ふれあいいきいきサロン交流・研修会
- ★サロン備品の追加とリストの更新
- ★「200万歩・100万歩運動」
- ★認知症サポーター研修
- ★歴史再発見ウォーク（地域振興部会と共催）
- ★高齢者見守りネットワーク



高齢者見守りネットワーク研修



紙芝居セット

囲碁ボール・スカットボールを2セットづつに揃えました。多人数でもできますので、是非各区サロン計画に入れて下さい。また「笑いヨガ」DVDや紙芝居セットも追加しました。「100万歩運動」は昨年度より実施期間が長くあり、200万歩にも多数の方が達成されました。認知症サポーター研修会は、かふかの里施設長から、現場ならではの体験談を聞かせていただきました。

地域振興部会との共催の「歴史再発見ウォーク」（神区）はクイズラリーを行いました。

高齢者見守りネットワークについては、毎月の部会のほか、講演会やワークショップ、懇談会、先進地訪問など検討を重ねて、来年度実施に向けた取組をしました。皆さんの御協力ありがとうございました。

★大原ふれあいフェスタ

● 10月25日「大原はひとつ ふれあおう つながろう 人と世代」をテーマに開催、7百余人の来場者

★広報発行

● 6月発行の第11号から第14号の年4回発行

★シンボルマーク募集



シンボルマークが決定しました!!

前回13号広報紙で募集しましたところ、2月27日締め切りまでに18点の応募があり、各区自治会長はじめ自治振興委員、代議員、専門部会正副会長、本部役員での投票の結果、畑中一基さん（大原市場）の右の作品に決まりました。応募いただいた方々に深く感謝いたします。



大原の「大」の字に太陽と水を取り入れ、美しい環境で収穫される米の形を表現しています。

今後は、このマークが大原自治振興会のシンボルとして、ハタや広報紙などに使用され、皆さまに広く知られ愛されるようよろしくお願いします。

健康づくりウォーキングの「200万歩・100万歩運動」の結果

【200万歩】 参加 30名 うち達成 22名

【100万歩】 参加 62名 うち達成 17名

*達成人数は達成記念品を取りに来られた方の集計です

自治区別達成者数とお名前（公表を承諾された方々のみ） 敬称略

櫛野	5名	大原 久和	鳥居野	7名	西出 稔、望月 きよ、奥村 僚一
神	7名	廣岡 輝治、廣岡 眞弓、廣岡 清治、福永 孝子、中本 道雄	大原市場	7名	藤江 正和
大久保	1名	鳶田 耕平	高野	8名	高田 良博
大原中	2名	西村 朋弥	不祥	2名	

編集後記

平成25年7月の第7号から担当し、今回で8回目となる第14号を発行し、私たち広報委員4名は卒業いたします。見やすく分かり易い紙面づくりをモットーに取り組んでまいりました。

これまで原稿をお寄せ下さり、また色々ご意見をいただいた方々に、心より感謝しお礼申し上げます。大原自治振興会の益々のご発展を祈念しつつ、退任いたします。

宮林 康自 立岡 栄輝 大原 美智子 川村 啓子